

九州大学病院

研修医 津田 美希 2016年1月

九州大学病院初期臨床研修医2年目の津田美希と申します。平成28年1月の1ヶ月の間、地域医療研修として出水総合医療センターで研修させて頂きました。

「地域」研修ということで福岡県から離れた地域で研修したいと思い、出水総合医療センターを選びました。出水には自分の車で来たのですが、出水に来た日(1/3)はとても暖かく絶好のドライブ日和でした。出水に到着してまず初めに鶴を見に行きましたが、1万5千羽程の鶴を間近で見たことはなかったので凄く驚きました。

研修内容についてですが、野田診療所・高尾野診療所・上場診療所・出水保健センター・出水総合医療センターで1ヶ月研修させて頂きました。

野田診療所・高尾野診療所の研修では、慢性疾患の外来を見学したり、実際に外来診療を行ったり、往診に行ったりしました。学生時代に外来の見学はしていましたが、慢性疾患の定期通院の外来を見学するのは初めてでとても興味深かったです。また、往診では医療機関の受診が難しい方の訪問診療を行いました。内村先生も西元寺先生もとても広い範囲の往診を行っており、外来診療を行いながらの往診を行うことは本当に大変だなと思いました。

出水総合医療センターでは循環器内科を研修し、外来見学や心カテの見学、病棟での処置につかさせて頂きました。また、医療安全管理室・感染対策委員会・地域連携室・臨床検査科・リハビリテーション科の研修もさせて頂きました。普段お世話になっている多職種の方々の仕事内容を聞き、日々の診療で疑問に思っていたことも質問できたのでよかったです。大学での研修では多職種の方と話す機会は中々なく、今回の研修を通じてチーム医療を行う上で多職種の方々とコミュニケーションをとることは本当に大切だと痛感しました。

出水での一ヶ月を終えて地域の方々との関わり方、高齢化が進んだ地域での医療の現状といった大学の研修だけでは分からない多くのことを学ぶことが出来ました。大学病院とは違い、各診療科や各職種の方々との垣根が低く、色んなところで多くの方々と話せたことが本当に嬉しかったです。また、福岡という都市部と違い、基幹病院が少ない場所で研修することで、大学病院の研修だけでは分からなかった地方の医療の現状、また、この出水で医療をされている先生方の思いを知ることが出来ました。この1ヶ月の研修で学んだことを活かして今後も頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、この場をお借りして野田診療所・高尾野診療所・出水保健センター・出水総合医療センターの皆様にご心より御礼申し上げます。御多忙の中、数々の御指導ありがとうございました。とても充実した1ヶ月になりました。地域研修で出水総合医療センターを選択して本当によかったです。